

## Information 広報委員会から

### 1 「NPO 法人日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医」の広告許可について

2008年2月19日付けで、「NPO 法人日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医」の広告が、厚生労働省医政局から許可され可能になりました。本学会法人化の1つの目標を達しました。これまでご指導ご尽力ご協力いただきました各位に厚く御礼申し上げます。

専門医の広告は、「患者さんが自分の病状に合った適切な医療機関を選択すること、患者さんに必要な情報が正確に提供され、その選択を支援すること」がその目的です。会員および専門医各位は、専門医広告の趣旨を良く理解され、適切な広告及び医療活動を行っていただきますようお願い申し上げます。本件に関する詳細は、学会ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

### 2 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会理事会報告

2008年2月29日、神戸ポートピアホテル「生田の間」、出席30名（全理事+松島 聡専門医制度事務局長：委任状提出者を含む）

- 1) 開会、出席者の確認、議長指名、議事録署名人名指：滝 和郎（理事長）
- 2) 事務局報告：兵頭明夫（事務局長）
- 3) 理事、認定委員選挙について：宮地 茂（選挙管理委員長）
- 4) 法務・医療安全委員会から：桑山直也（同委員長）
- 5) 専門医制度委員会から：宮地 茂（同委員長）：下記参照。  
＜指導医審査の学会発表基準策定について＞  
専門医試験および実地監査における頸動脈ステント留置術の扱い
- 6) 液体塞栓物質の実施基準について：宮地 茂（担当理事）
- 7) 機関誌編集委員会から：小宮山雅樹（同委員長）
- 8) 専門医広告許可および専門医認定制機構について：坂井信幸（広報渉外委員長）：上記参照。
- 9) 罰則規定の制定について：高橋 明（倫理委員長）
- 10) メールアドレス活用の開始について：坂井信幸（広報渉外委員長）
- 11) その他

＜専門医制度委員会から＞

専門医試験および実地監査における頸動脈ステント留

置術の扱い

2008年4月から実施基準に基づいた研修プログラムの完了が、CAS実施医に求められる。そのため、実地監査では頸動脈ステント留置術は行えないこと、専門医受験に際してもCAS術者の登録は認められないことを確認した。

### 3 広報渉外委員会および学会事務局から

- 1) 学会からの連絡が確実に届くよう連絡先が変わった会員は速やかに事務局に連絡してください。
- 2) 日本脳神経血管内治療学会に関するメールアドレスは以下の通りです。

学会メールアドレス：jsnet-admin@umin.ac.jp

事務局メールアドレス：jsnet\_service@nv-med.com（会員業務のみ）

- 3) 会員専用ページの閲覧にはパスワードが必要です。会員にはすでにお知らせしておりますが、学会メールアドレス jsnet-admin@umin.ac.jp にお申し込みいただければ、返信メールでお知らせいたします。
- 4) 脳神経血管内治療関連のセミナー、学術集会の情報をお知らせください。
- 5) その他、脳神経血管内治療に関する情報をお知らせください。

必要に応じて総務委員会で判断し、学会ホームページに掲載いたします。

- 6) JNET 第1巻は、会員名簿に登録されているすべての会員（正会員、名誉会員、賛助会員）に配布しました。第2巻からは、年会費納入者および前年度までの年会費を完納している会員に対し、登録された住所（海外在住者は国内連絡先）に翌年のJNETを配布することになっています。

NPO 法人日本脳神経血管内治療学会の会計年度は10月から9月ですので、例えば2008年に発行されるJNET (Vol.2) は、2007年度会費（2007.10-2008.9）を納めている会員および未納者のうち2006年度会費（2006.10-2007.9）まで完納している会員に配布します。

機関誌及び学会からの連絡が届くように、送付先連絡先を変更する会員は異動届を事務局まで提出してください。創刊号は100名以上が宛先不明で事務局に戻ってきていますので、ご注意ください。